

降誕節第3主日礼拝

2024年1月14日 午前10時30分

司 式 細井伝道師
奏 楽 奏楽奉仕者

前 奏		奏楽者
招 詞		司式者
頌 栄	真理は主イエス・キリスト	
交 読	詩編 49編	一 同
聖 書	ヤコブの手紙 第2章8～9節	(新) p.423
祈 禱		司式者
讃美歌	21-18番	一 同
使徒信条	21-93番(4-A)	一 同
讃美歌	21-533番	一 同
説 教	「みんながお友だち」	牧 師
祈 禱		牧 師
讃美歌	21-486番	一 同
献 金	困難にある人々への連帯を祈りつつ	
感 謝		献金奉仕者
主の祈	21-93番(5-A)	一 同
讃美歌	21-91番	一 同
祝 禱		牧 師
後 奏	(黙 禱)	奏楽者

【2023年度年間聖句】

見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。(イザヤ書 43章19節a)

【今週の祈り】

- ・能登半島地震の被災者・被災教会のために。
- ・病や困難の中にある友のために。
- ・十条伝道所と渋川宣行牧師のために。

【本日の集会】

- ・ 9:40-10:20 教会養育(お大根の収穫)
- ・ 10:20-10:30 礼拝準備祈禱会
- ・ 10:30-11:30 主日礼拝
- ・ 11:30-11:45 讃美歌練習(担当:奏楽奉仕者)
- ・ 11:45-12:00 お茶の会(自由参加)

どなたでもどうぞ

【今週の集会】

- ・聖研祈禱会 1月18日(木) 10:30-11:30
ルカ福音書7章36～50節 (新)p.116

【次主日の案内】

- ・降誕節第4主日礼拝 1月21日 10:30-11:30
- 司 式 : 細井 宏一伝道師
- 交 読 : 詩編 50編
- 聖 書 : ヤコブの手紙5章13～16節(新)p.426
- 説 教 : 「苦しい時のお祈り」
- 献 金 : 献金奉仕者
- 奏 楽 : 奏楽奉仕者
- 讃美歌 : 21-18(心を高くあげよ!)
21-493(いつくしみ深い)
21-486(飢えている人と)

・礼拝後、讃美歌練習と聖書通読があります。

1月定例役員会は12時から開催します。



「松の内」における松の意味 —キリスト者として—

「松の内」とは、正月の松飾りを置く期間のことを指す。伝統的には元日から1月15日まで。この松飾りは、松が冬でも枯れずに緑の葉を付けていることから、そうした生命力を寿ぐものとされてきた。さらに、松(マツ)という名の由来には、(神を)待つ、が転じたものだとする説があり、日本人は古来より、厳しい寒さに耐えながら逞しく緑の葉を保つ松の姿に、



長寿や永遠の命を見て、松を特別な木として愛しんできた。私達クリスチャンが、異教の地・日本という国における現実の厳しい社会の中で、永遠の命を信じて希望に生きる姿も、青々として凜と立つ松の木のようにでありたいと祈るものだ。

コラム: 細井 宏一

■ 水越 孝太さんの "ニューイヤーコンサート"

日時: 2024年1月14日(日) 13:30 開場 (14:00 開演)
場所: 富士見ヶ丘三丁目防災コミュニティセンター (入場無料)

■ 集会報告

- 【教会養育】 1月7日(日) 男4、女3、計7名
- 【主日礼拝】 1月7日(木) 男4、女4、計8名
- 【聖研祈禱会】 1月11日(木) 男2、女2、計4名

■ 献金報告

【礼拝献金】 1月7日(日) 7,230円

◎ 個人情報保護の観点から、牧師以外の礼拝奉仕者並びに献金者の個人名は伏せさせていただきました。当伝道所は、教会内外からの多くの方々の尊い献金によって支えられています。心から感謝申し上げます。

○礼拝前は静かに心を整えましょう。

○聖書にあらかじめ目を通しましょう。

○祈禱中、礼拝堂への入場は待ちましょう。

○礼拝後は、交わりの時を。